

## 守りたい、伝えたい、地域の山林

自然豊かな甲賀市にも多くある山林。豊かな山林は、暮らしに必要な木材の供給、生活環境の保全、安らぎや憩いを与える空間など、私たちにさまざまな恵みをもたらし、私たちの生活を守ってくれています。

「とにかく山仕事が好きです。自分で植えた木が育っていき、山がきれいになっていく様子を見ることが楽しいです。きれいな山を見ると心が安らぎます。」と話す野口佳正さん。もともと稲作の専業農家だった野口さんですが、自宅の建て替え時の材料になればと、ご自身が所有される山林に植樹されたことをきっかけに、以来40年以上造林、育林に取り組まれています。

この地域のヒノキは質が良く光沢が他のものとは違うと言う野口さんは、「甲賀ヒノキ」を次世代に引き継ごうと活動される「甲賀愛林クラブ」でも地域のリーダーとして、山林の大切さを発信されています。これらの活動が認められ、今年2月には、林業振興に功績のあった人に贈られる「中日造林賞」を受賞されました。

「山林は放っておくと荒れてしまいますが、世話をしていると2、3年もすれば景色が劇的に変わります。自然にも世話がが必要です。世話をこそ良い自然ができると思います。

もっといろんな人に自然の大切さ、楽しさを知ってほしいです。」と話す野口さん。少しずつ体力的にきつくなってきたとのことですが、最近植えたクヌギの木が立派に育つまではやめられないと笑顔で話す野口さん。活動はまだまた続きます。



▲手入れが行き届き、明るい光が差す野口さん管理の山林

## 貴重な名車が甲賀路を走る

～ラ・フェスタ・プリマベラ～

**関** 西地域の公道を舞台に、往年の名車が走るイベント「ラ・フェスタ・プリマベラ」が4月18～20日に行われ、18日には市内をクラシックカーが駆け抜けました。スタンブポイントとなった陶芸の森と鹿深夢の森では、めったに見ることができない貴重な車を見ようと多くの人が訪れ、車が通過するたびにカメラのシャッターが切られ、大きな歓声が沸き起こりました。



▲沿道の声援を受け走るクラシックカー

## 春運ぶ素朴な草花を展示

～春の山野草展～

**春** の野山を彩る山野草の展示が4月17・18日、水口福祉センターで行われ、たくさんの方が観賞に訪れました。会場には、愛好家の方が工夫を凝らして植えられた鉢植え作品が並び、場内は春一色の雰囲気。訪れた人は、丹精が込められた鉢を通して、素朴で可憐な風合いや春の景色を満喫することができたようです。



▲会場に並ぶ山野草

## 満開の桜の下で健康づくり

～柏木レインボークラブ～

**春** のポカポカ陽気の中で見る桜はさわやかでとても気持ちが良いものです。そんな絶好の桜日和に恵まれた4月8日、満開の桜が咲く水口町藤栄神社で太極拳が行われました。この太極拳は、総合型地域スポーツクラブ「柏木レインボークラブ」で6年前から学んでいる皆さんにより行われたもの。普段は公民館で練習されている皆さん。「せっかくなので桜の名所があるのだから、春を満喫しながらできれば」と、今年初めて実施されました。



▲満開の桜の下で太極拳を楽しむ皆さん

## 忍術で交通安全を呼びかけ

～春の交通安全運動～

**交** 通マナーの向上を目的に、4月6日から15日まで、全国で開催された春の交通安全運動。甲賀地域では、6日に湖南市地先でオープニング啓発が行われ、忍者に扮した啓発者や忍者キャラクターのりんじゃもん、甲賀のゆめ丸が参加しドライバーに安全運転を呼びかけました。忍者からは、「交通安全確認じゃ」の掛け声とともに「ゆっくり走(等)って確認じゃ(忍者)」と書かれた箸が手渡され、ドライバーは笑顔で受け取りながら交通安全に気を引き締めました。



▲交通安全を呼びかける啓発者の皆さん

## 桜に囲まれた会場で春を満喫

～咲くや鮎河さくらまつり～

**鈴** 鹿山系のふもとを流れる土山町鮎河のうぐい川沿いに咲く桜。雄大な自然をバックに川の両岸に連なる200本の桜は庄巻、県内外から多くの人が訪れます。4月10・11日、咲くや鮎河さくらまつりが行われ、今年も多くの方が大自然の中の桜を楽しみました。爽やかな晴天に恵まれたこの日、桜に囲まれた会場では、地元農産物の販売やもちつきなどが行われ、春を満喫するイベントで盛り上がりしました。また、うぐい川沿いでは、桜の下、お弁当をひろげのんびりとくつろぎながら満開の桜を楽しむ人でにぎわいました。



▲花見を楽しむ人でにぎわううぐい川



▲メイン会場で行われたもちつき